

開発途上国の観光行政官が群馬県を訪問

観光設備でのSDGsへの取り組みや地場産業と連携した観光振興策について学びます

JICA東京では、日本で観光マーケティングや観光客誘致の手法を学ぶことを目的とした研修を実施しており、開発途上国から観光行政官を受け入れています。開発途上国では、外貨獲得や雇用創出、地域開発の観点から観光客の誘致に取り組む国が多くあります。

今回、渋川市伊香保温泉にあるホテル松本楼に伺い、水資源の有効活用やフードロス削減などSDGsの取り組み、訪問者が安心して宿泊できる施設を目指したBCP作成の取り組みについてお話を伺います。

また、「日本の機どころ」桐生市の観光スポットでもある織物参考館 紫(ゆかり)では、その展示方法の工夫や、地場産業にスポットをあてた観光振興策を学び、ベーカリーカフェ レンガではのこぎり屋根の旧織物工場を観光施設として改修したカフェや工房等を視察します。是非取材をご検討ください。



2018年度の研修風景（日光市）

<取材可能日時・場所> ※当日は研修監理員が同行し、通訳（日本語-英語）を行います。

- 1月27日（金）** 9：00-10：30 ホテル松本楼（バリアフリー施設、セントラルキッチン等）
12：00 - 13：00 ベーカリーカフェ レンガ（旧織物工場を改修した国登録有形文化財に指定されたカフェ店舗及び染色工場・絹織物工房）
14：40-15：40 織物参考館 紫（ゆかり）（古器具・古織機等の展示見学、稼働中工場の工程見学、藍染め体験）

<研修概要>

研修コース名：観光マーケティング・プロモーション—ニューノーマルに向けて—

研修期間：2023年1月19日～2023年2月9日（22日間）

研修参加国：アゼルバイジャン、ジョージア、ヨルダン、モーリシャス、パレスチナ、スリランカ、東ティモール、ザンビア、エジプト、エクアドル、キリバス、メキシコ、ニカラグア、セントクリストファー・ネイビス、セントルシア、トンガからの観光行政関係者 合計18名



約3週間オンラインで勉強し来日研修に臨みます

取材のお申込みや本件に関するお問い合わせ先

JICA 東京 産業開発・公共政策課 門脇・安部

TEL 03-3485-7630 E-mail: Kadowaki.Megumi@jica.go.jp / Abe.Kumiko@jica.go.jp